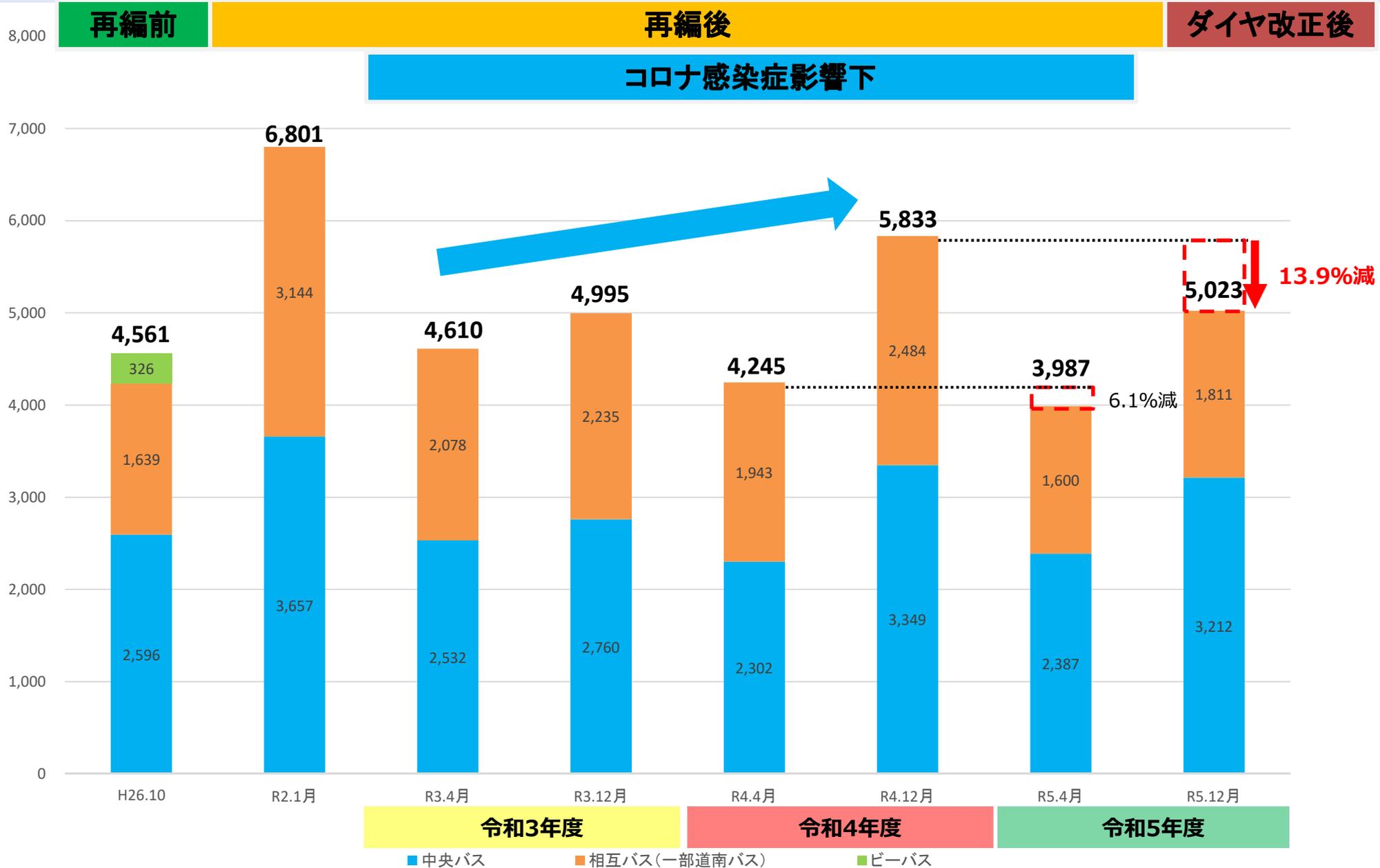


# 千歳市における 路線バスの利用状況について

# 市内路線バス利用者の推移（1日全便一斉調査）

単位：人



▶ 徐々に増加傾向であったが、令和5年度の調査では、昨年度と比較し、夏季は6.1%の減少、冬季は13.9%の減少となった。主な要因としては、減便の影響が考えられる。

# キロ・便当たりの利用者数

※カッコ内は 前回（令和4年12月調査）数値との差

運行路線		利用者数(人/日)	営業距離(km/日)	便数	キロ当たり利用者	便当たり平均利用者
中央バス	稲穂団地線	546( ▲43)	222.9	27	2.4( ▲0.19)	20.2( ▲1.6)
中央バス	桜木空港線	144( +26)	52.4	3	2.7( +0.59)	48.0( +8.7)
中央バス	桜木線	335( ▲79)	257.0	21	1.3( ▲0.24)	16.0( ▲2.0)
中央バス	みどり台空港線	52( ▲4)	28.6	2	1.8( ▲0.13)	26.0( ▲2.0)
中央バス	みどり台線	367( ▲38)	186.1	25	1.4( ▲0.10)	10.7( ▲0.6)
中央バス	支笏湖線	183( ▲5)	1,055.7	8	0.2( ▲0.52)	22.9( ▲0.6)
中央バス	新星空港線	720( ▲6)	196.2	31	3.7( +1.88)	23.2( ▲0.2)
中央バス	空港市内線	221( ▲22)	71.6	15	3.1( +0.85)	14.7( ▲5.6)
中央バス	東部隊線	732( +54)	275.3	43	2.7( +0.40)	17.0( +2.6)
中央バス	桜木長都線	12( ▲20)	16.4	4	0.7( ▲0.19)	3.0( ▲1.0)
千歳相互バス	泉沢向陽台線	255( ▲84)	240.9	20	1.1( +0.01)	12.8( ▲0.9)
千歳相互バス	泉沢市民病院線	704( ▲361)	554.6	34	1.3( ▲0.15)	20.7( ▲2.5)
千歳相互バス	図書館青葉線	277( ▲62)	134.4	16	2.1( ▲0.31)	17.3( ▲2.6)
千歳相互バス	市民病院プール線	121( ▲90)	102.8	13	1.2( ▲0.47)	9.3( ▲3.9)
相互・道南	勇舞空港線	454( ▲76)	152.2	25	3.0( +1.53)	18.2( ▲0.7)
合計		5,023( ▲810)	3,547.1	287	—	—

▶ 桜木空港線及び東部隊線を除く全路線で利用者数が減少しており、特に千歳相互観光バスが運行する路線の減少数が大きい。空港を起終点とする路線でキロ当たり利用者、便当たり平均利用者ともに増加傾向となっている。

# 時間帯別利用者数推移（再編前とコロナ後）

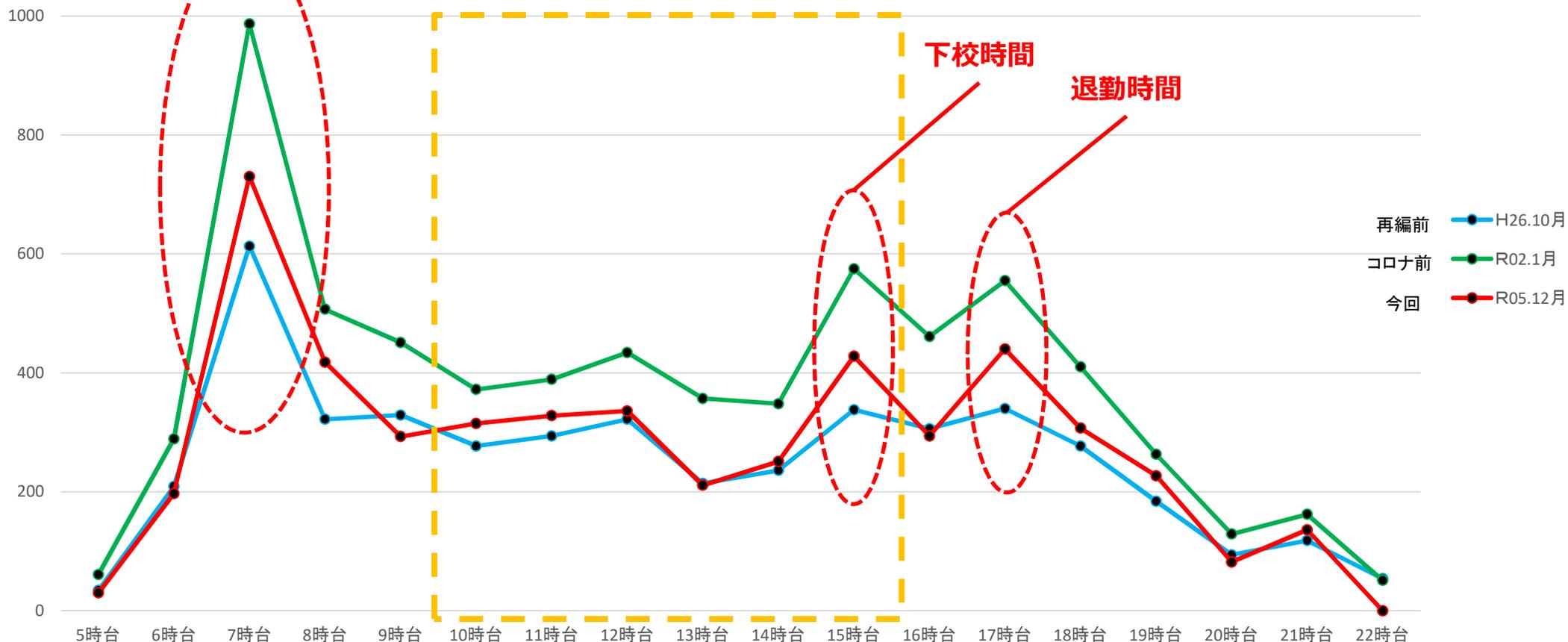
単位:人  
1200

通勤・登校時間

シルバーおでかけパス利用可能時間帯

下校時間

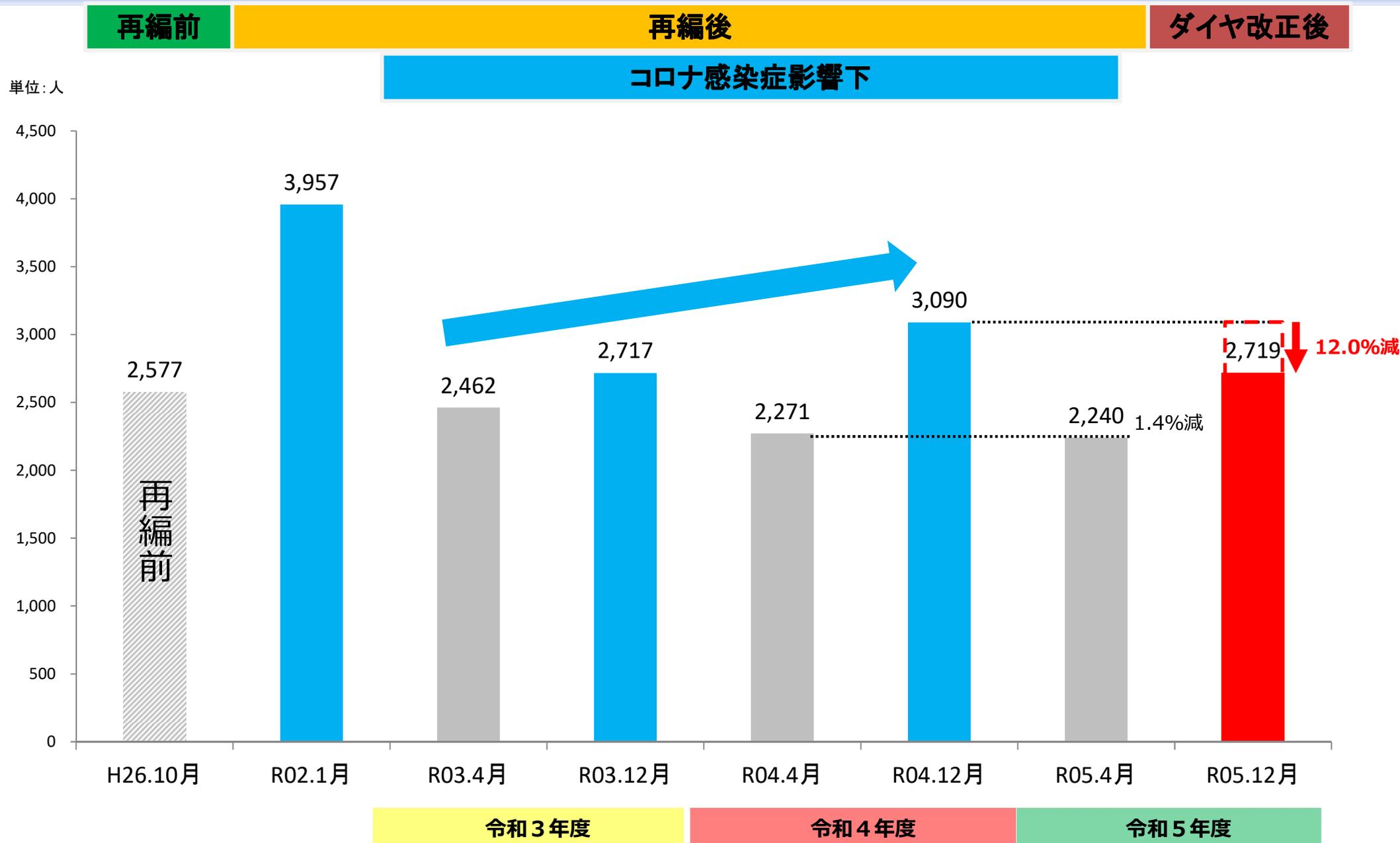
退勤時間



再編前 ● H26.10月  
コロナ前 ● R02.1月  
今回 ● R05.12月

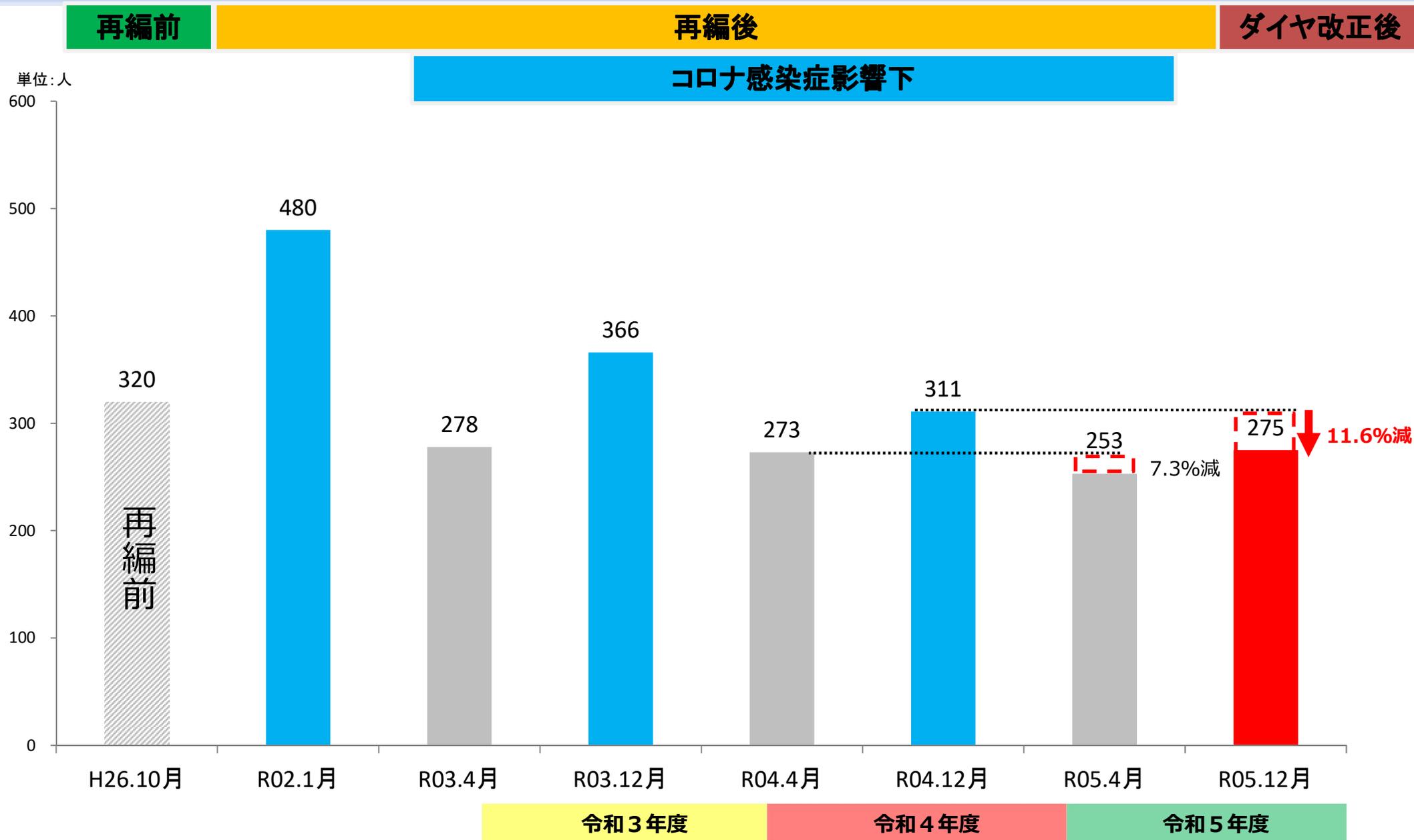
▶現状、再編前よりは利用者が増加している状況であるが、コロナ前の水準までは回復していない。

# 千歳駅 乗降人数比較



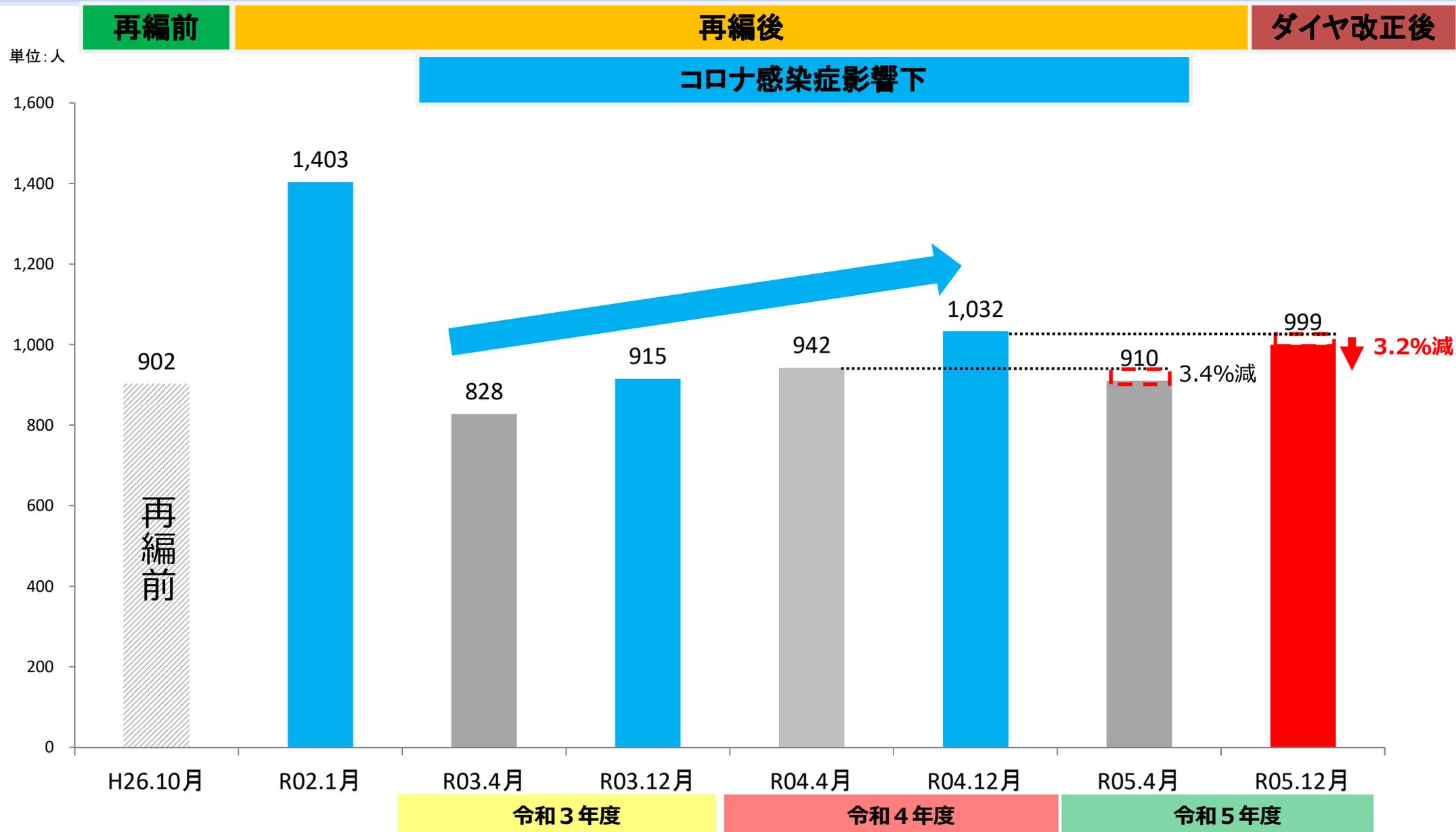
▶ 徐々に増加傾向であったが、令和5年度の調査では、昨年度と比較し、夏季は1.4%の減少、冬季は12.0%の減少となった。主な要因としては、減便の影響が考えられる。

# 市民病院 乗降人数比較



▶横ばいに推移していたが、令和5年度の調査では、昨年度と比較し、夏季は7.3%の減少、冬季は11.6%の減少となった。主な要因としては、減便の影響が考えられる。

# 新千歳空港 乗降人数比較



▶徐々に増加傾向であったが、令和5年度の調査では、昨年度と比較し、夏季は3.4%の減少、冬季は3.2%の減少となった。減便等の影響を受け、利用者が減少しているものの、千歳駅、市民病院の乗降人数と比べ、減少率が低い。